

電子図書館サービスが はじまりました!

図書館では、令和4年4月1日から、インターネットを通じて24時間365日いつでもパソコンやスマートフォンから電子書籍を楽しめる電子図書館サービスがはじまりました。

電子図書館サービスは清瀬市に在住・在学・在勤の方で、図書館の利用カードをお持ちの方が利用できます。

貸出点数は3点、予約点数は3点、貸出期間は2週間です。

サービスを利用の際は、IDとパスワードが必要となり、どちらも図書館の利用カードのハイフンを除いた番号です。

図書館の利用カードをお持ちでない場合は、市内の図書館で利用カードの登録をしてください。

電子図書館サービスの利用は無料ですが、通信費は電子書籍を読むたびにかかります。

詳しくは図書館のホームページからご確認ください。



Teens Joy

10代のみなさんへのおすすめ図書リスト



No.47 2022.4

清瀬市立図書館

図解でわかる
14歳からのLGBTQ+

社会応援ネットワーク／著
太田出版



「LGBT」は知っているけど、「LGBTQ+」の「Q+」ってなんのこと？
そんな「LGBTQ+」についての素朴な疑問の中から32の質問を取り上げ、見開き完結型のQ&A形式で解説した本です。カラフルな図版が多く、用語の解説が要所にあり、中学生にも読みやすくなっています。
また、章ごとに参考文献もあり、調べたり、友達と話し合ったりして自分なりの考えをまとめる資料としての活用もできます。
自分には関係ないと思っている人も、まずは知ることで自分らしさとは何かを考えてみてください。
〈元町こども図書館 堀田〉

この本は感染症による様々な悩みの中にある「さみしさ」と「希望」を感じられる優しさに溢れた作品です。
読んでみると、生活の変化等により、大切な時間を失った人が、世の中に沢山いるということを考えさせられます。そして、その大切な時間を使えなかった「さみしさ」の中にも、「希望」がある事も教えてくれます。
いつ終わるかかわからないコロナ禍のなかでも、希望が持てるような気持ちにさせてくれる。読んだ後に心がおだやかになる全11話の短編小説集です。ぜひ読んでみてください。
〈中央図書館 根岸〉

かぞえきれない星の、
その次の星

重松 清／著
KADOKAWA



『手を伸ばそうよ。届くから。』『日々はそれだけで、宝物だ』
実はこれらは、町中にあふれている広告で使われた言葉です。広告の言葉は、どうやったら相手に伝わるかを考え抜き作られています。その中には、悩んだり迷ったりしている時、背中を押してくれる言葉や、落ち込んだりした時に寄り添ってくれる数々の名言があります。
この本の中には普段見過ごしてしまいがちな広告にある素敵な言葉たちが集められています。
ぜひ、今の気持ちにピッタリな言葉を探してみてください。
〈中央図書館 廣野〉

君たちに贈る明日への
勇気が湧いてくる広告コピー

パイ・インターナショナル



文系のための
めっちゃやさしい天気

ニュートンプレス



「今日は、天気がいいから布団を干そう」といったささやかなことから「台風」や「集中豪雨」など命に関わるような災害で私たちの暮らしは、「天気」に大きな影響を受けています。
「天気」とは「大気の状態」のことです。晴天や大雨といった天気の変化は、気温や水蒸気、雲、気圧風といった大気のダイナミックな動きによってもたらされます。
本書では天気について、生徒と先生の対話を通してやさしく解説します。本書を読めば、普段何気なく眺めている雲や吹く風から天気の情報を読みとれるようになるでしょう。天気博士になれるかもしれません。
〈駅前図書館 栗原〉